

# 国道57号 宇土道路【直轄】

■国道57号宇土道路は、熊本市と天草市を結ぶ高規格道路熊本天草幹線道路の一部を構成し、宇土半島に存在する特殊通行規制区間に対する代替機能の確保を目的とする道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

## 《位置図》



## 《諸元等》

事業区間：熊本県宇土市城塚町  
～宇土市上網田町

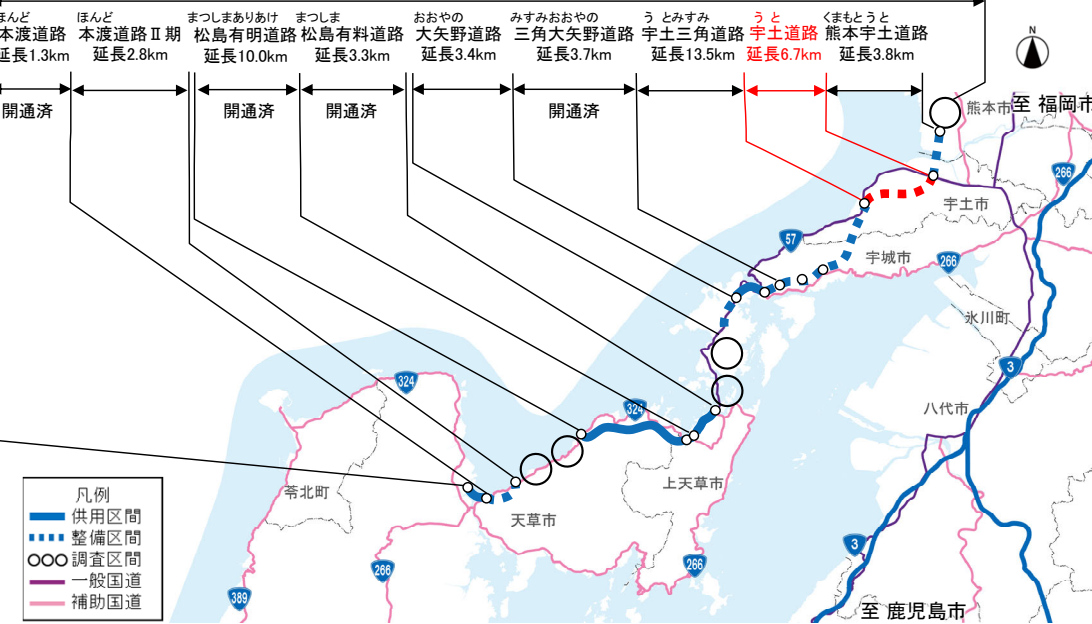
延長：6.7km

全体事業費：434億円

R5補正：10.2億円

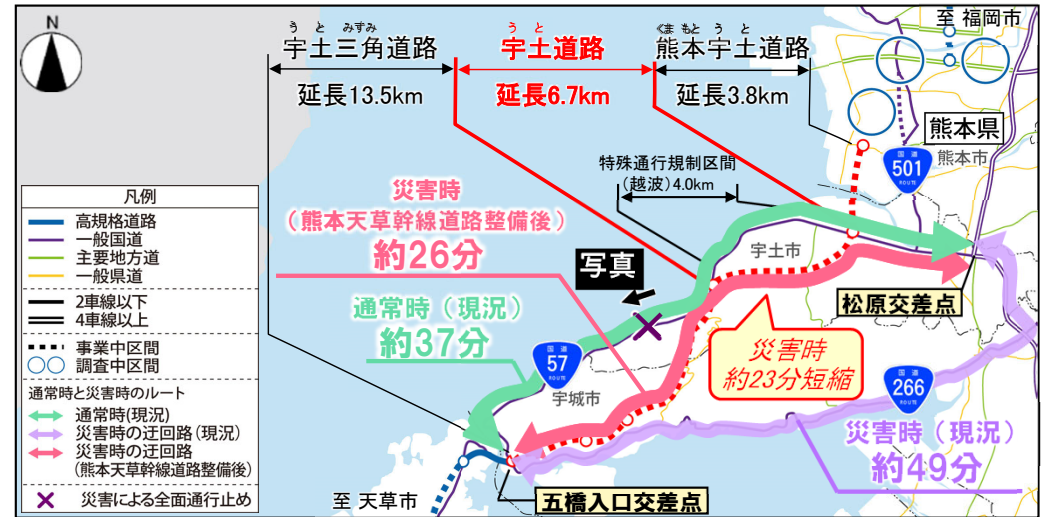
## 《路線位置図》

熊本天草幹線道路 延長約70km

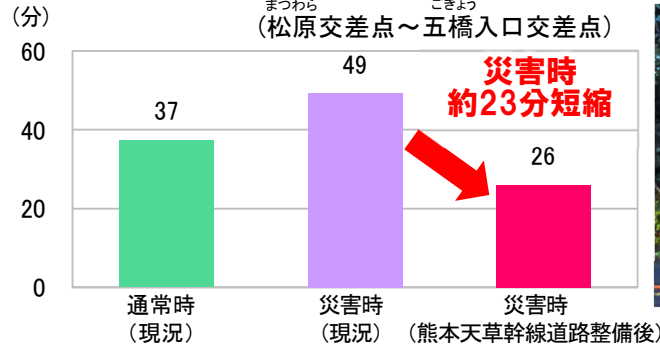


## 《整備効果》

○当該道路の整備により、特殊通行規制区間を回避する緊急輸送道路として機能。これにより、道路ネットワークの機能強化を推進。



## ■災害時の所要時間比較



## ■過去の被災状況

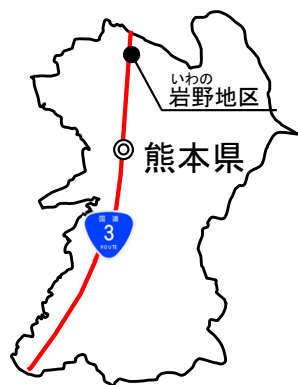


※通常時(現況)国道57号経由、災害時(現況)国道266号経由  
 災害時(熊本天草幹線道路整備後)宇土道路・宇土三角道路経由  
 ※宇土道路・宇土三角道路は設計速度80km/hで算出  
 資料：全国道路・街路交通情勢調査(H27)

# 熊本3号 維持管理(防災・減災対策)【直轄】

- 国道3号は、福岡県北九州市を起点とし鹿児島県鹿児島市に至る全長約470kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。
- 土砂災害等による道路の通行止めのリスクを解消するため、補正予算の充当により、国道3号山鹿市岩野地区において、法面工等の法面对策工事を実施することで、道路法面・盛土対策を推進。

## 《位置図》



## 《平面図》



## 《諸元等》

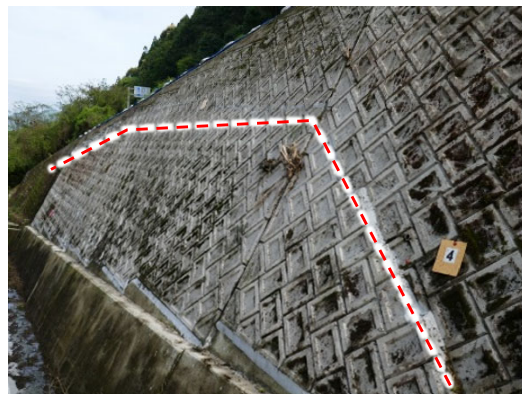
事業区間 : 熊本県山鹿市～熊本県水俣市  
延長 : 約181km  
R5補正 : 6.5億円

## 《現地状況写真》

法面对策箇所(全景)



擁壁クラック(近景)



小段沈下(近景)



《対策イメージ》



# 国道266号 大矢野道路【補助】

■国道266号大矢野道路は、熊本県熊本市と熊本県天草市を結ぶ熊本天草幹線道路の一部を構成し、天草地域と熊本都市圏間の「90分構想」の実現を目的とする道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、用地買収、改良工事、橋梁下部工工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

## 《位置図》



## 《諸元等》

事業区間：熊本県上天草市大矢野町上  
～大矢野町登立

延長：3.4km  
全体事業費：170億円  
R5補正：10.1億円

## 《現地状況写真》

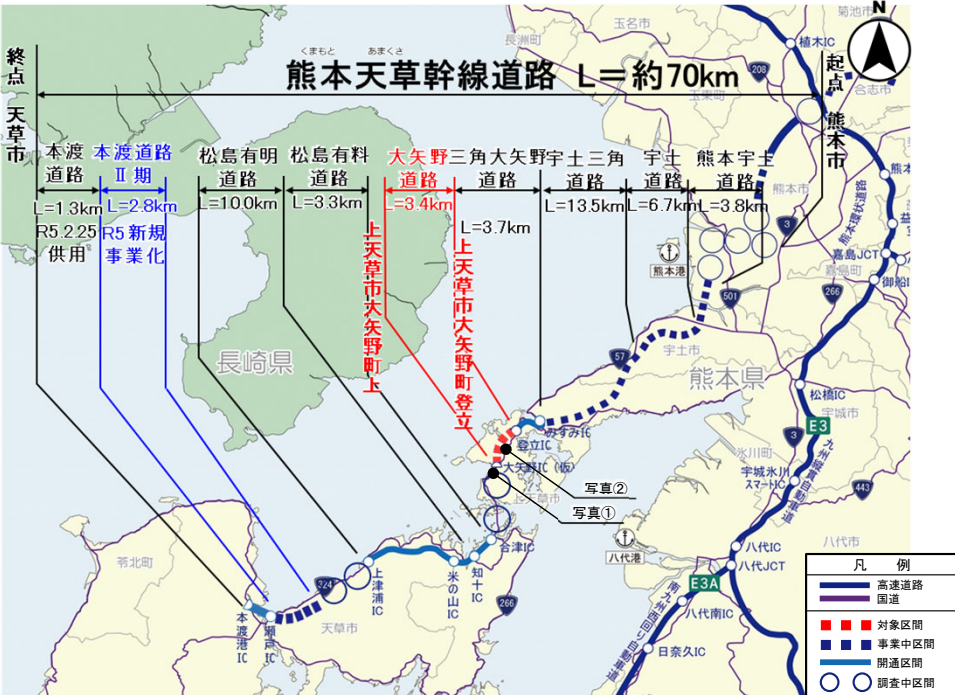


▲国道266号(現道)の渋滞状況



▲国道266号(現道)大雨による冠水

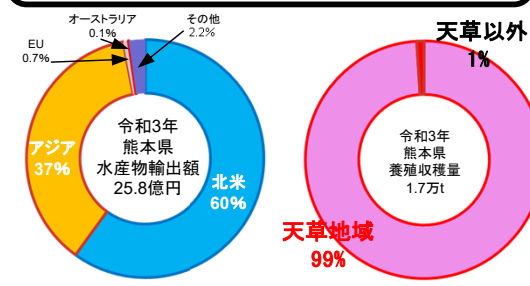
## 《路線位置図》



## 《整備効果》

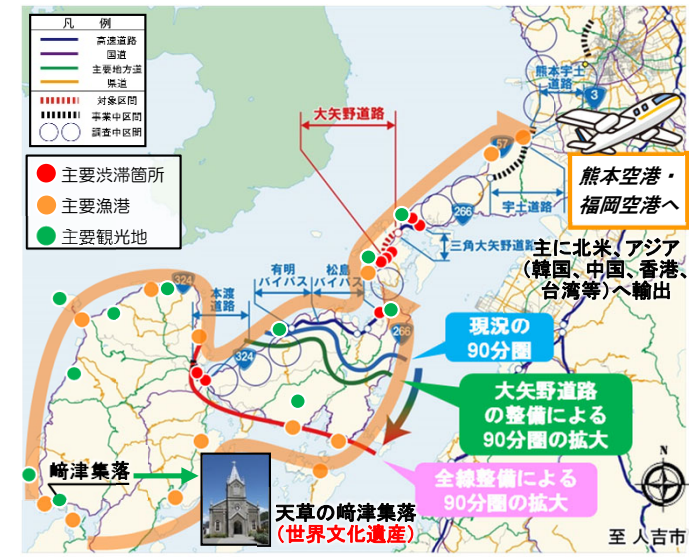
- 災害、事故等に対する信頼性の高い道路ネットワークの形成。
- 水産物の輸送時間の短縮、定時性確保が図られ、海外販路の拡大が期待。
- 観光地へのアクセスが向上し、観光客の増加が期待。
- 交通量の分散による慢性的な交通渋滞の緩和が期待

●主に北米・アジアへ養殖魚を中心に輸出  
●熊本県における養殖収穫量の99%を天草地域が占める！



▲熊本県水産物輸出額シェア ▲熊本県養殖収穫量地域別割合

資料：熊本県農林水産部資料



▲90分圏域の拡大

# 一般県道 砂原四方寄線(砂原工区)【補助】

■一般県道砂原四方寄線(砂原工区)は熊本環状道路の一部を構成し、熊本市中心部の慢性的な交通渋滞を解消するとともに、熊本市西部地域の利便性向上、物流の効率化及び救急医療活動に伴うアクセス時間の短縮等を目的とした道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、調査設計、改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

## 《位置図》



## 《諸元等》

事業区間：熊本県熊本市西区池上町  
いけのうえまち  
～熊本市南区砂原町  
すなはらまち

延長：3.8km

全体事業費：340億円

R5補正：4.0億円

## 《現地状況写真》



▲ 国道3号の渋滞状況

## 《路線位置図》

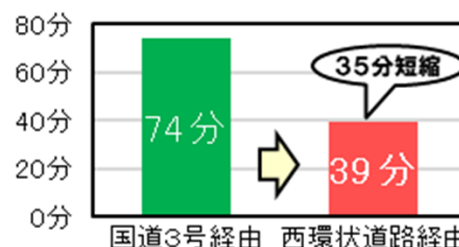


※ 国土地理院地図

## 《整備効果》

- 災害、事故等に対する信頼性の高い道路ネットワークの形成。
- 並行する国道3号等の渋滞緩和。

▼道路整備により期待される将来の所要時間  
北区役所 → 第3次医療施設



※ETC2.0プローブデータ(R2.9~11)  
混雑時旅行速度(砂原四方寄線は設計速度)



# 国道212号 三光本耶馬溪道路【直轄】

- 国道212号三光本耶馬溪道路は、中津日田道路の一部を構成し、物流の効率化及び広域観光の振興を支援するとともに、災害に強いネットワークの構築を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事、橋梁下部工工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

## 《位置図》



## 《諸元等》

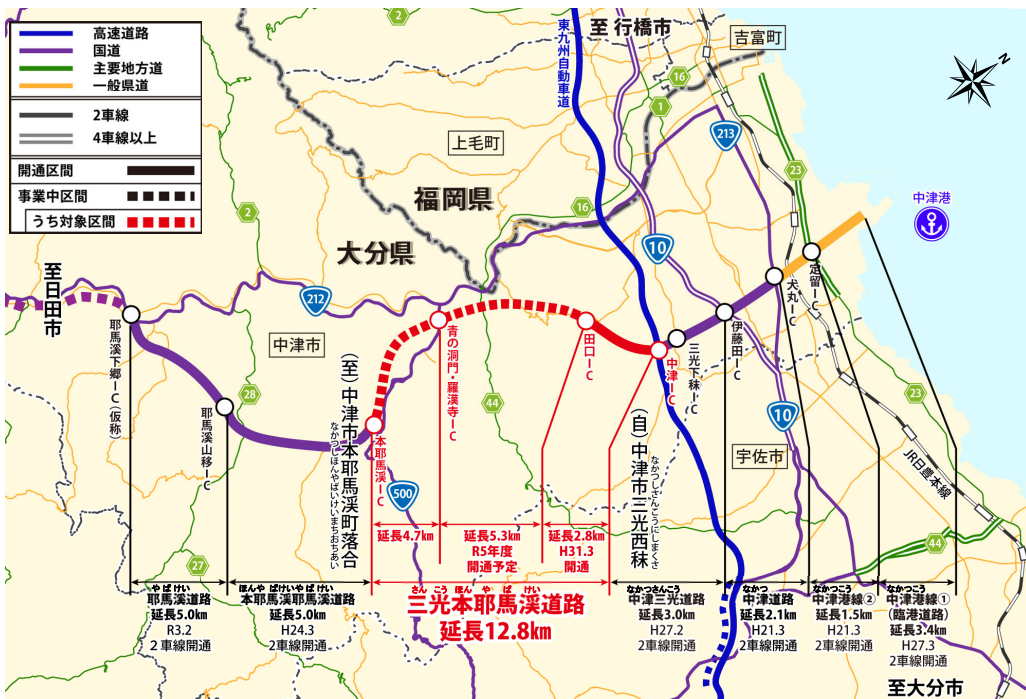
事業区間：大分県中津市三光西秣  
～中津市本耶馬溪町落合

延長：12.8 km

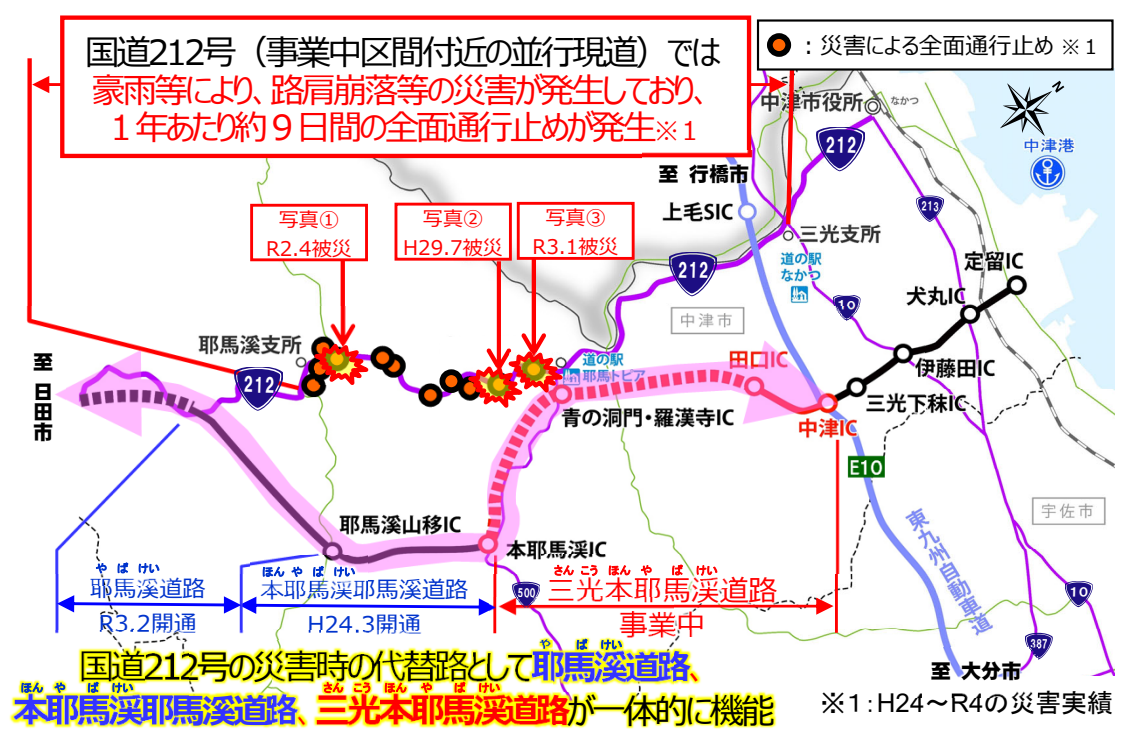
全体事業費：576億円

R5補正：9.5億円

## 《路線位置図》



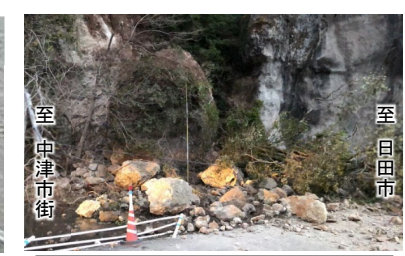
## 《整備効果》



写真①：R2.4 落石



写真②：H29.7 冠水



写真③：R3.1 法面崩落

# 大分10号 交通安全対策【直轄】

- 当該箇所は、野津小学校の学校指定通学路として利用されているが、歩道が整備されておらず、児童や歩行者等の安全が確保されていない状況。
- 本事業は、連続性を確保するために歩道の整備を行い児童生徒や歩行者等の安全・安心な歩行空間の確保図り、歩行者と車両の接触事故防止を図る事業。
- 通学路等の安全な通行を確保するため、補正予算の充当により、歩道整備工事を実施することで、合同点検結果等を踏まえた交通安全対策を推進。

## ○国道10号 野津野口歩道整備

《位置図》



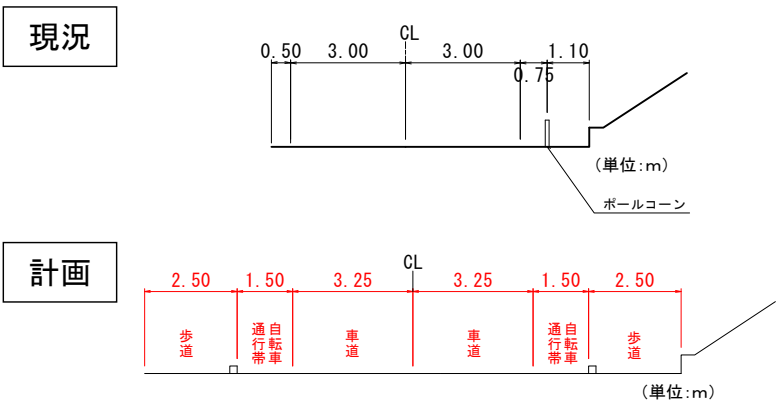
《諸元等》

事業区間：大分県臼杵市野津町大字野津市

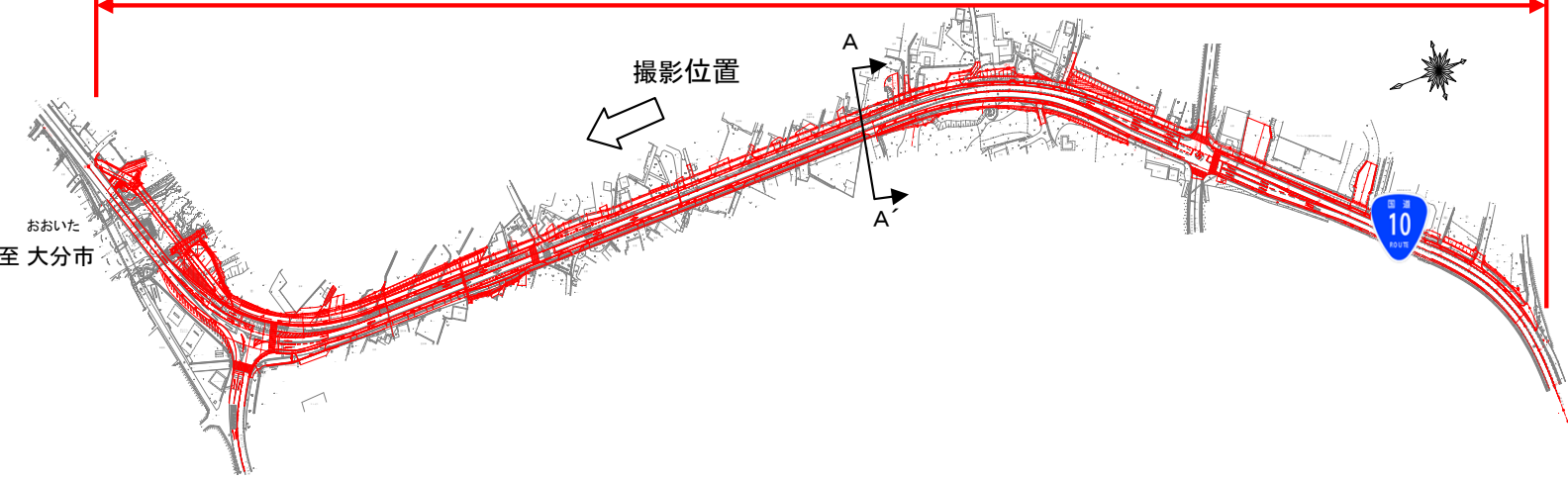
延長：0.9km

R5補正：0.3億円

《計画横断面図》



《平面図》



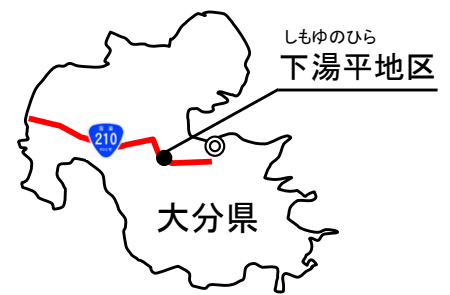
《現地状況写真》



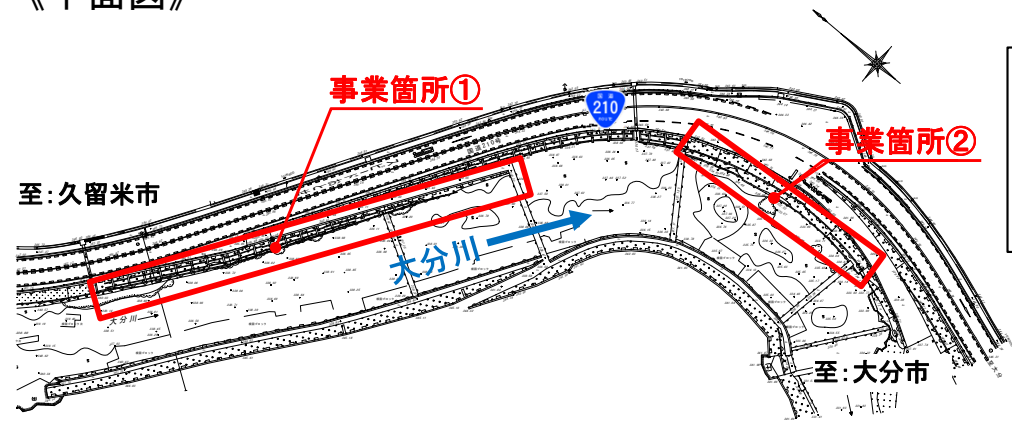
# 大分210号 維持管理(防災・減災対策)【直轄】

- 国道210号は、福岡県久留米市を起点とし大分県大分市に至る全長約140kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。
- 橋梁や道路の流出等による道路の通行止めのリスクを解消するため、補正予算の充当により、国道210号由布市湯布院町下湯平地区において、根固め工等の洗掘・流出対策工事を実施することで、河川に隣接する道路構造物の流出防止対策を図る。

《位置図》



《平面図》



《諸元等》

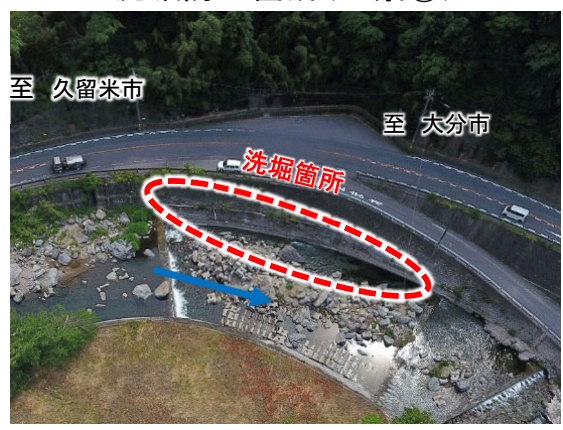
事業区間	: 大分県日田市～大分県大分市
延長	: 約97km
R5補正	: 6.4億円

《現地状況写真》

洗掘防止箇所(全景①)



洗掘防止箇所(全景②)



洗掘状況(近景)



《対策イメージ》



# 国道212号 日田山国道路【補助】

■ 国道212号日田山国道路は、中津日田道路の一部を構成し、国道212号の災害による全面通行止め箇所、冬期の凍結多発区間、道路防災点検要対策箇所及び線形不良箇所を回避することにより、生活圏の連携強化、大分自動車道及び重点港湾中津港へのアクセス強化による産業の活性化を目的とする道路。

■ 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行確保するため、補正予算の充当により、改良工事、トンネル工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

## 《位置図》



## 《諸元等》

事業区間：大分県中津市山国町字守実  
～日田市大字三和

延長：8.8km

全体事業費：338億円

R5補正：39.0億円

## 《現地状況写真》

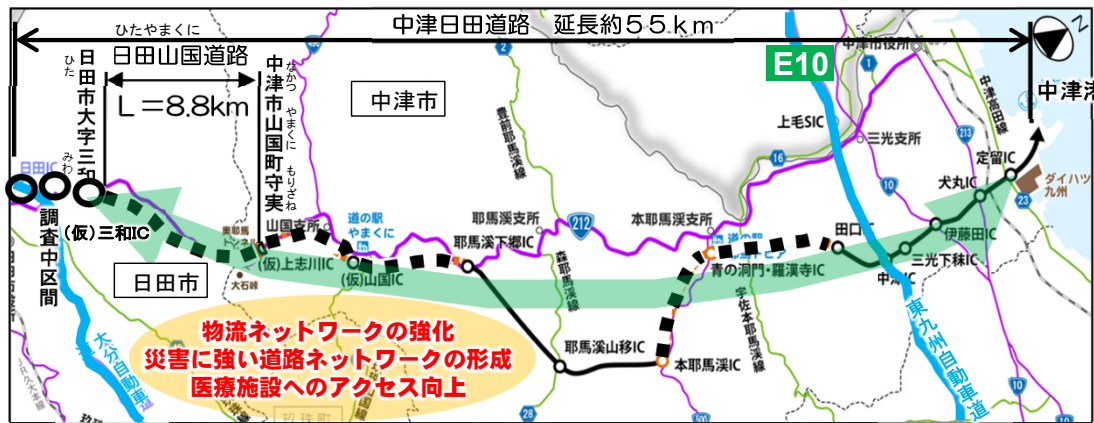
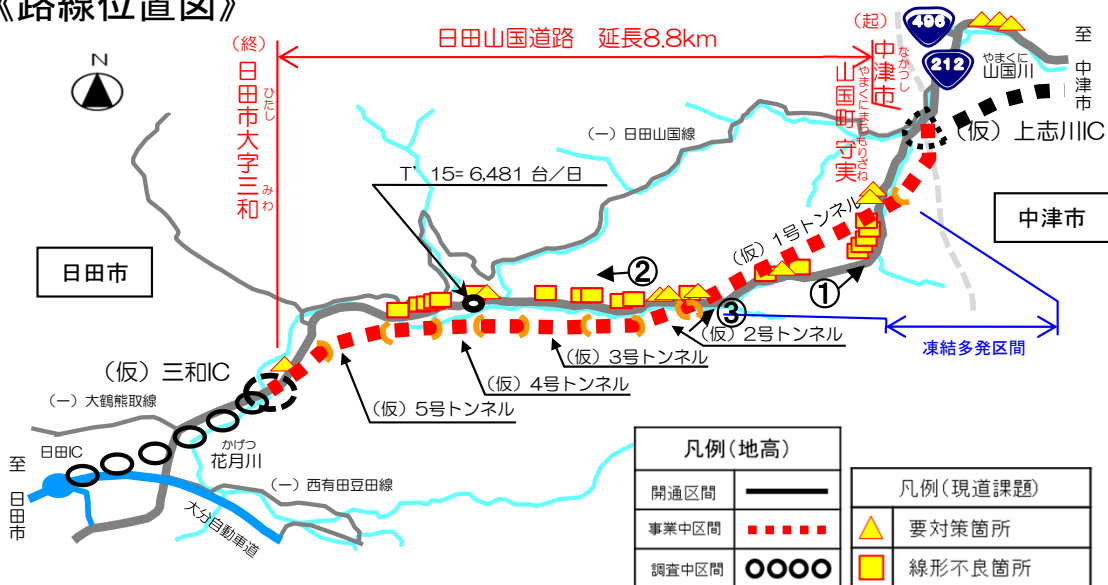


▲ 積雪凍結事故発生状況 ▲ 風水害による土砂流出状況 ▲ 1号トンネル避難坑工事状況

## 《整備効果》

- 地域産業の活性化を支える効率的な物流ネットワークの確保
- 災害、事故等に対する信頼性の高い道路ネットワークの形成
- 中津市・日田市から第3次救急医療施設（別府・大分・北九州・久留米）へのアクセス向上に寄与

## 《路線位置図》





# 国道10号 都城道路(Ⅱ期)【直轄】

- 国道10号都城道路(Ⅱ期)は、都城志布志道路の一部を構成し、九州縦貫自動車道宮崎線との結節による物流の効率化を図るとともに、市街地の交通混雑解消及び沿道環境改善を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事、道路附属物工事を実施することで、都城IC～乙房IC間の令和6年度の開通を確実にし、道路ネットワークの機能強化を推進。

## 《位置図》



## 《諸元等》

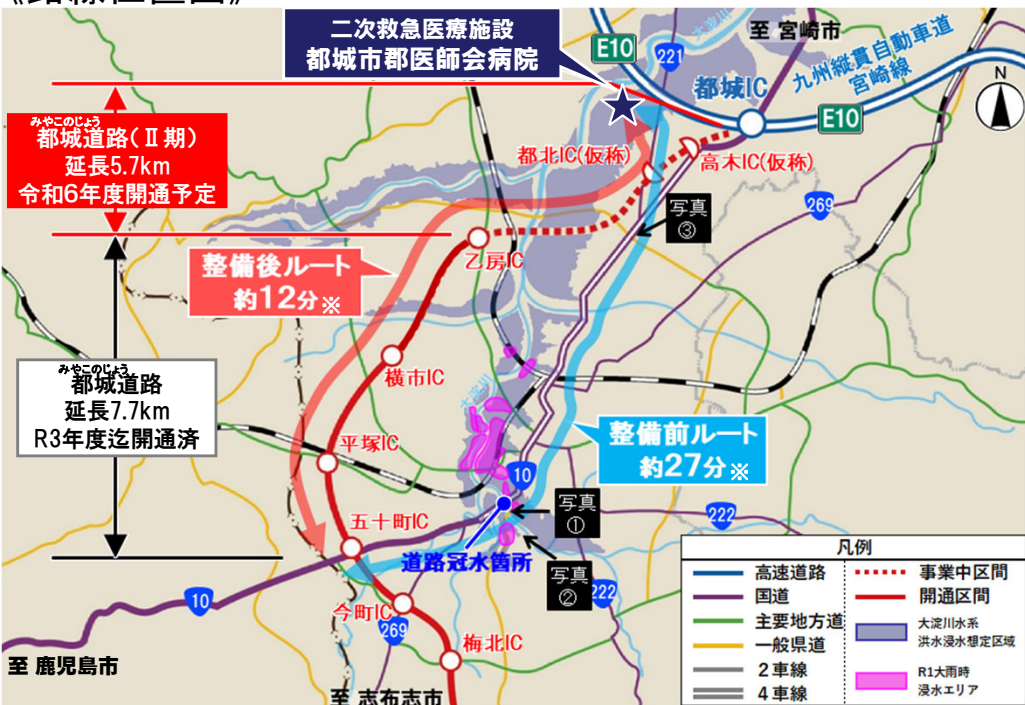
事業区間：宮崎県都城市高木町  
～都城市乙房町

延長：5.7km  
全体事業費：356億円  
R5補正：12.2億円

## 《整備効果》

○当該道路の整備により、洪水浸水想定区域を回避する道路ネットワークを形成

## 《路線位置図》



※ETC2.0プローブデータ(R2.4～R3.3)の混雑時旅行速度、都城道路は設計速度を用いて鹿児島県境から都城市郡医師会病院までの所用時間を算出

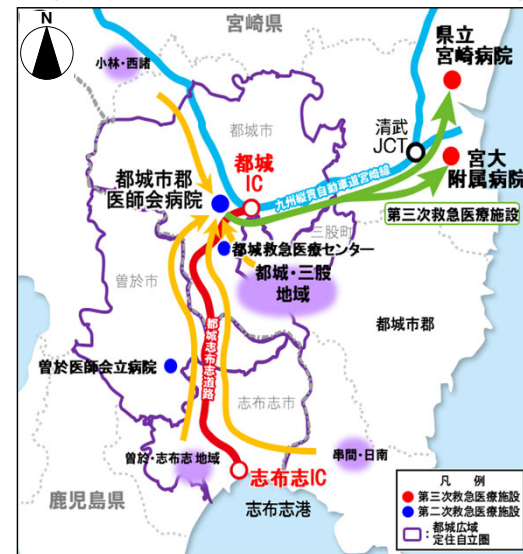


▲国道10号の大雨による道路冠水状況 (R1.7撮影)



▲国道10号周辺地域での救助活動状況 (R1.7撮影)

## ■ 都城市郡医師会病院への来院・搬送状況



○本路線の整備により、高次医療施設への搬送時間短縮が図られるとともに、搬送時の揺れや振動も抑えられ、患者の安静な搬送が期待される。



▲医療施設周辺の渋滞状況 (R3.6撮影)



▲『都城市郡医師会病院』 (H27.4移転)

# 国道218号 五ヶ瀬高千穂道路【直轄】

- 国道218号五ヶ瀬高千穂道路は、九州横断自動車道延岡線の一部を構成し、国道218号の防災課題箇所及び線形不良箇所を回避することにより、走行性、安全性の向上や、災害時の救急活動等の防災機能向上に寄与する道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

## 《位置図》



## 《諸元等》

事業区間：宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町  
 ～西臼杵郡高千穂町

延長：9.2km

全体事業費：559億円

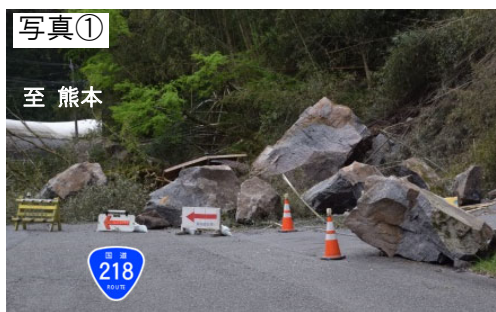
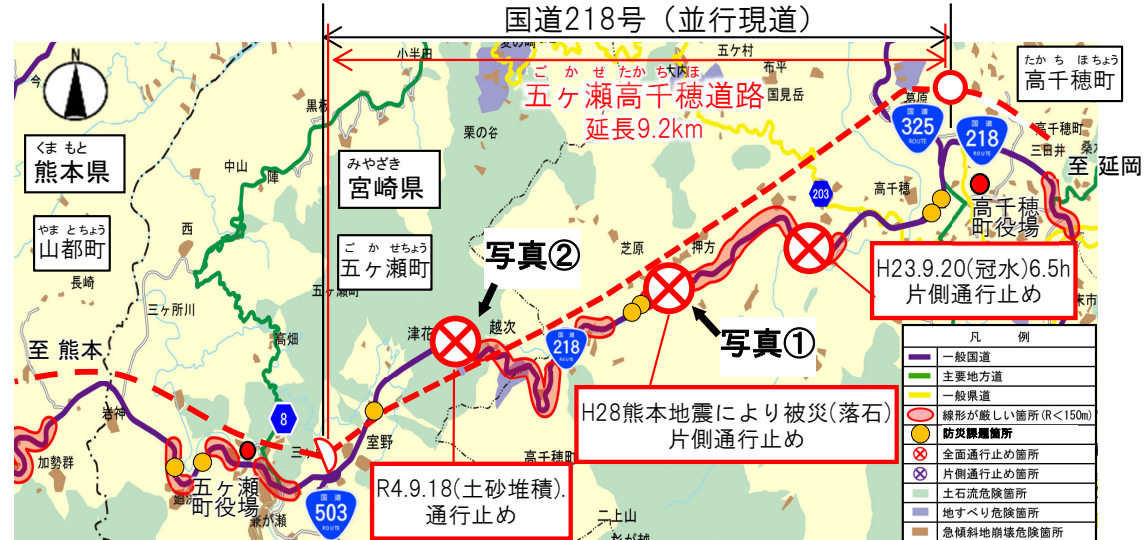
R5補正：11.6億円

## 《路線位置図》



## 《整備効果》

○ 当該道路の整備により、国道218号の線形不良箇所(60箇所)や防災課題箇所(5箇所)等を回避する緊急輸送道路として機能。これにより、道路ネットワークの機能強化を推進。



▲H28熊本地震 国道218号



▲R4台風14号 国道218号

# 国道220号 日南・志布志道路【直轄】

- 国道220号日南・志布志道路は、地域観光の発展に寄与するとともに、飼料輸送など産業活動を支援し、並行する国道220号の縦断線形不良箇所や事故率の高い箇所等を回避する安全で円滑な高速ネットワークの形成を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事、橋梁下部工工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

## 《位置図》



## 《諸元等》

事業区間：宮崎県日南市大字東弁分  
 ～日南市大字平野  
 鹿児島県志布志市志布志町帖  
 ～志布志市志布志町志布志

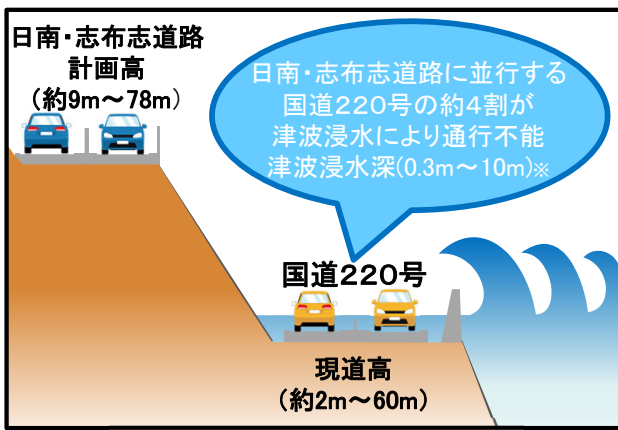
延長：6.9km  
 全体事業費：319億円  
 R5補正：21.6億円  
 (うち、宮崎県16.6億円、鹿児島県5.0億円)

## 《路線位置図》



## 《整備効果》

○ 当該道路の整備により、津波浸水想定区域を回避する緊急輸送道路として機能。  
 これにより、道路ネットワークの機能強化を推進。



※出典：県としての新たな「津波浸水想定」の設定についてR2.2.14【宮崎県】  
 鹿児島県津波浸水想定の設定についてR3.3.264【鹿児島県】

# 宮崎10号 維持管理(老朽化対策)【直轄】

- 国道10号は、福岡県北九州市を起点とし鹿児島県鹿児島市に至る全長約490kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定。
- 予防保全型インフラメンテナンスへの転換を図るため、補正予算の充当により、国道10号児湯郡新富町富田地区において路盤打換工事等を実施することで、早期に対策が必要な道路施設の老朽化対策を集中的に実施。

## 《位置図》



## 《平面図》



## 《諸元等》

事業区間 : 宮崎県延岡市～宮崎県都城市  
延長 : 約173km  
R5補正 : 5.2億円

## 《現地状況写真》

舗裝修繕箇所(全景)



路面クラック・わだち掘れ(近景)



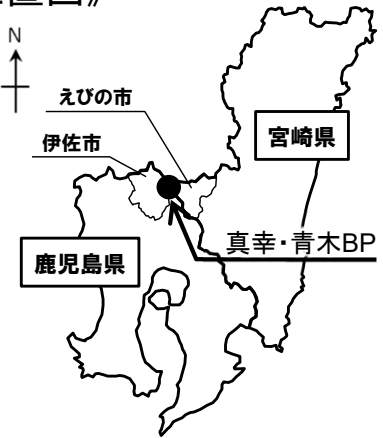
## 《対策イメージ》



# 国道447号 真幸・青木バイパス【補助】

- 国道447号真幸・青木バイパスは、九州縦貫自動車道と南九州西回り自動車道を東西で結ぶ路線の一部を構成する重要な道路であり、整備を行うことで狭隘区間解消を目的とした県境を跨ぐ道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事、トンネル工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

### 《位置図》



### 《諸元等》

事業区間：宮崎県えびの市内<sup>うちたて</sup>縦～鹿児島県伊佐市大口<sup>いさ おおくち あおき</sup>青木

延長：5.0km  
(宮崎県3.2km、鹿児島県1.8km)

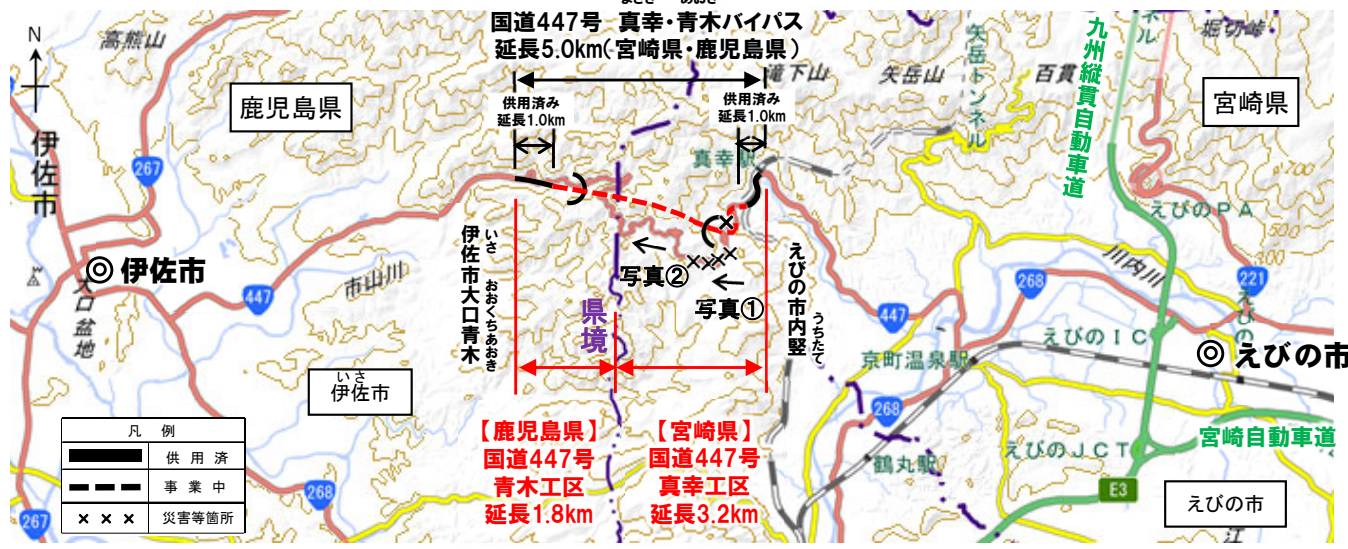
全体事業費：227億円  
(宮崎県160億円、鹿児島県67億円)

R5補正：15.2億円  
(宮崎県15.2億円、鹿児島県0億円)

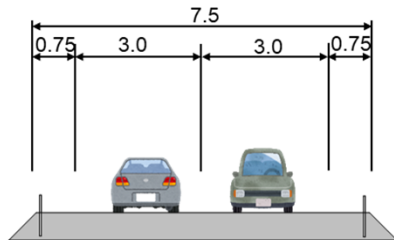
### 《現地状況写真》



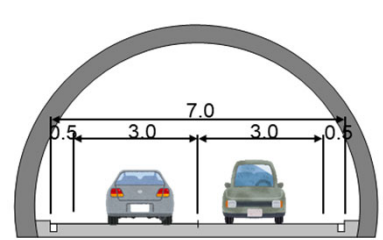
### 《路線位置図》



### 【一般部】

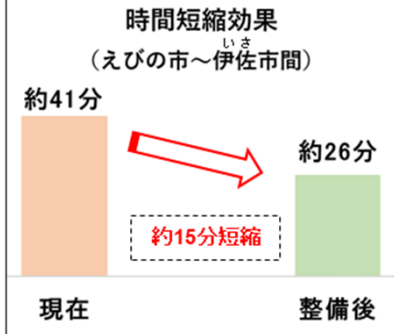


### 【トンネル部】



### 《整備効果》

○宮崎県えびの市から鹿児島県伊佐市まで、約15分の時間短縮。  
 ○災害による通行止めが発生(H27～R2:5件、最大5日間)していることから、道路整備で通行止回数<sup>回数</sup>の減少が期待できる。



出典：R2宮崎県公共事業評価委員会資料

# 国道265号(上米良工区) 土砂災害対策道路事業【補助】

■土砂災害等による道路の通行止めを解消するため、補正予算の充当により、国道265号 上米良工区<sup>かみめら</sup>の防災工事を実施することで、道路法面対策を推進。

## 《位置図》



## 《諸元等》

事業区間: 宮崎県児湯郡西米良村<sup>こゆにしめらそん</sup>  
大字上米良<sup>かみめら</sup>

延長: 0.7km

全体事業費: 3.1億円

R5補正: 1.0億円

## 《現地状況写真》



## 《整備効果》

- 本路線は第二次緊急輸送道路に指定され、産業や住民生活を支えるとともに救命活動や支援物資輸送を担う道路である。
- 本事業箇所は、沿線集落と指定避難所を結ぶ避難路となっているため、砂防と連携し対策することで土砂災害による通行止めの防止や安全な道路空間を確保する。

## 《対策イメージ》



# 国道3号 阿久根川内道路【直轄】

- 国道3号阿久根川内道路は、南九州西回り自動車道の一部を構成し、九州南西部の地域経済の活性化及び高速定時性の確保を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事、橋梁下部工工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

## 《位置図》



## 《諸元等》

事業区間：鹿児島県阿久根市鶴川内  
～薩摩川内市水引町

延長：22.4 km  
全体事業費：1,050億円  
R5補正：17.9億円

## 《路線位置図》



## 《整備効果》

- 当該道路の整備により、並行する国道3号の防災課題箇所を回避する緊急輸送道路として機能。
- これにより、道路ネットワーク機能の強化を推進。



写真①：法面崩壊状況



写真②：大雨による冠水状況



写真③：大雪による混雑状況

# 国道220号 牛根境防災【直轄】

- 国道220号牛根境防災は、異常気象時の事前通行規制や斜面崩壊等の災害による通行止めを回避し、災害に強い道路ネットワークの確保を目的とする道路。
- 災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事を実施することで、道路ネットワークの機能強化を推進。

## 《位置図》



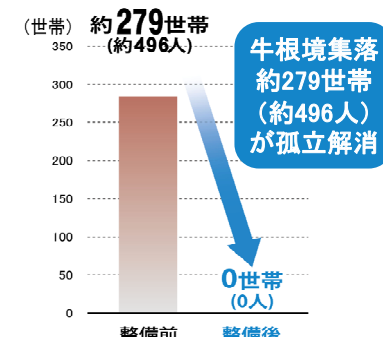
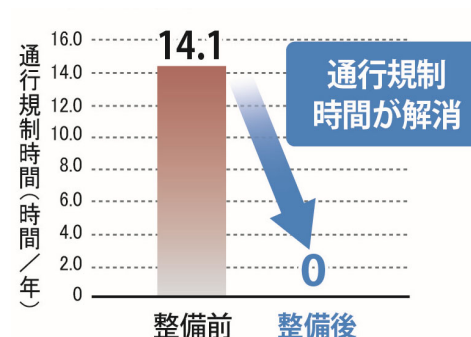
## 《諸元等》

事業区間：鹿児島県垂水市牛根境  
～霧島市福山町

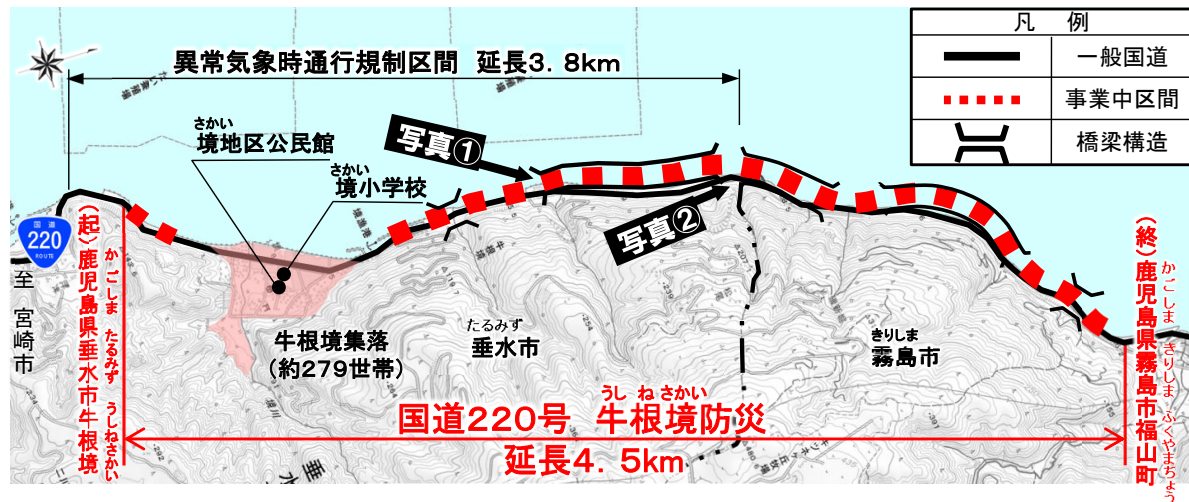
延長：4.5km  
全体事業費：300億円  
R5補正：4.9億円

## 《整備効果》

○ 当該道路の整備により、異常気象時の事前通行規制区間による孤立集落の発生を解消し、道路ネットワークの機能強化を推進。



## 《路線位置図》



▲ 牛根境防災事業区間における通行規制時間  
出典：H15～R4の通行規制実績 (大隅河川国道事務所)

▲ 異常気象時に孤立する可能性がある世帯数  
出典：令和2年国勢調査



▲ R4.9 国道220号への土砂流入



▲ H24.6 斜面の崩壊



# 鹿児島220号 交通安全対策【直轄】

- 当該箇所は、近傍に大崎小学校や大崎中学校、大崎町役場、公民館等の公的施設が立地し、交安法第3条に基づく通学路に指定され、通学生や一般の方々に多く利用されているが、歩道幅員狭小な区間があるため、歩行者等の安全が確保されていない状況。
- 本事業は、自歩道整備等を行うことにより歩行者や自転車の安全・安心な通行空間の確保を行う事業。
- 通学路等の安全な通行を確保するため、補正予算の充当により、歩道拡幅工事を実施することで合同点検結果等を踏まえた交通安全対策を推進。

## ○国道220号 益丸自歩道整備

《位置図》

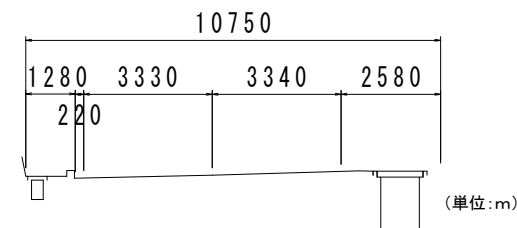


《諸元等》

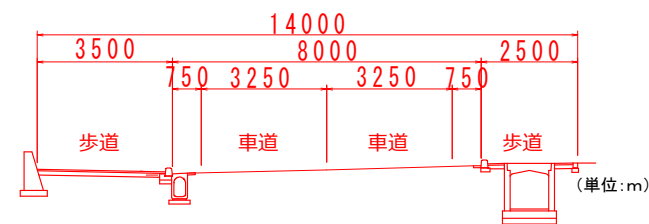
事業区間：鹿児島県曾於郡大崎町益丸  
 延長：1.5km  
 R5補正：1.9億円

《計画横断面図》

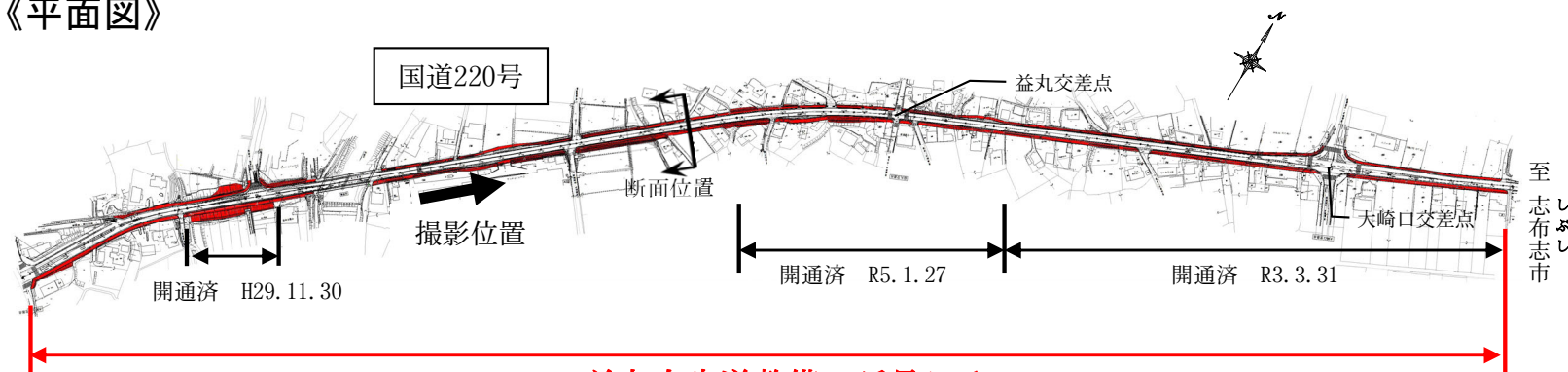
現況



計画



《平面図》



《現地状況写真》

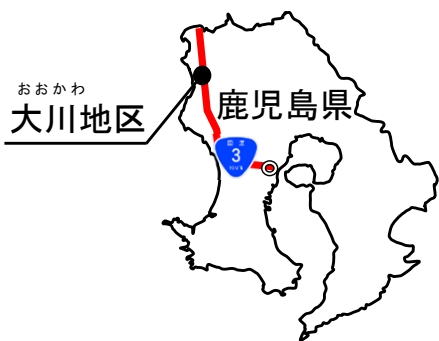


益丸自歩道整備 延長1.5km

# 鹿児島3号 維持管理(老朽化対策)【直轄】

- 国道3号は、福岡県北九州市を起点とし鹿児島県鹿児島市に至る全長約470kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送路に指定。
- 予防保全型インフラメンテナンスへの転換を図るため、補正予算の充当により、国道3号阿久根市大川地区において、路盤打換工事等を実施することで、早期に対策が必要な道路施設の老朽化対策を集中的に実施する。

## 《位置図》



## 《平面図》



## 《諸元等》

事業区間 : 鹿児島県出水市～鹿児島県鹿児島市  
 延長 : 約106km  
 R5補正 : 1.3億円

## 《現地状況写真》

舗装修繕箇所(全景)



路面クラック(近景)



路面クラック(近景)



## 《対策イメージ》



【国土強靱化、防災・減災など国民の安全・安心を確保する】

# 主要地方道 志布志福山線 志布志道路【補助】

■主要地方道志布志福山線志布志道路は、都城志布志道路の一部を構成し、九州縦貫自動車道と重要港湾志布志港を直結して物流の効率化を図るとともに広域ネットワークによる地域間交流・連携を目的とする道路。

■災害時においても速やかに緊急車両や一般車両の通行を確保するため、補正予算の充当により、改良工事を実施することで道路ネットワークの機能強化を推進。

## 《位置図》



## 《諸元等》

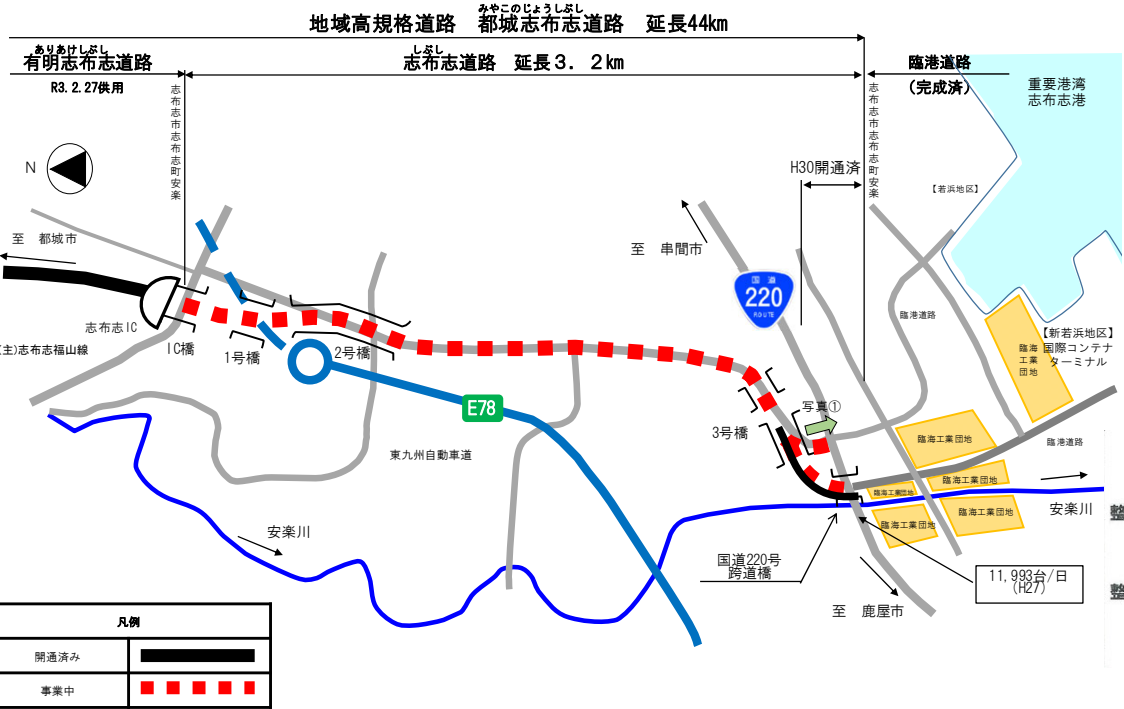
事業区間：鹿児島県志布志市志布志町安楽  
 延長：3.2km  
 全体事業費：205億円  
 R5補正：8.1億円

## 《現地状況写真》



▲ 臨港道路 大型車の渋滞状況

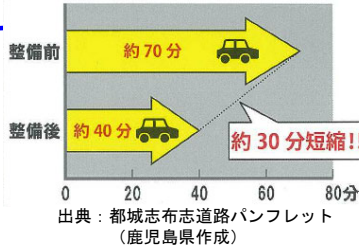
## 《路線位置図》



## 《整備効果》

- 都城志布志道路の全線開通後、都城ICから志布志港まで約30分の短縮
- 災害、事故等に対する信頼性の高い道路ネットワークの形成
- 重要港湾である志布志港においては、原木輸出や配合飼料の輸入等が行れ、年々増加傾向にある。
- 運搬には都城志布志道路が活用されており、路線沿線では企業立地が進んでいる。

### 時間短縮効果（都城IC～志布志港）



### 輸出 木材（原木）

